

社員・職員研修担当課長
リスク管理・コンプライアンス担当課長
経営戦略・企画担当課長 殿
総務担当課長
営業担当課長

リスクマネジメント研修のご案内

～経営の「誠実さ」を求めて～

貴社・貴団体に
研修講師を派遣
いたします!!

拝啓 時下ますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。

本会事業活動には、平素より格別のご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて今回は企業・団体に是非取り入れていただきたい社員・職員教育「リスクマネジメント研修」の概要についてご案内いたします。

「リスクマネジメント研修」内容の主旨をご理解の上、人材開発の一環として当会研修事業をご活用下さい。

本会所属講師を貴社・貴団体へ派遣させていただきます。

敬 具

研修主旨

- ①複雑化する経営の中でいかに危機（リスク）に囲まれているかを把握し、その危機（リスク）環境を認識する。
- ②リスクマネジメントは経営の軸である。その必要性和不測の事態や危機に対する未然防止可能な管理能力を習得する。
- ③リスクマネジメントとしてのコンプライアンス（法令順守・社会常識や倫理）の必要性和重要性を認識し、誠実な言動の徹底を図る。
- ④リスクコミュニケーションの重要性和情報開示の範囲や対象者を理解する。

研修プログラムは、裏面をご覧ください

講師紹介



町口 正人（まちぐちまさひと）

1973年 キヤノン（株）入社。キヤノン販売（株）移籍、国内4営業所所長、札幌、仙台各支店長兼営業本部長を歴任。
2001年 同 研修本部上席スタッフとして部課長へのビジネス・スキル、コーチング研修の企画・開発と講師として後進の育成に従事。コンプライアンス委員。
2006年 同 早期退社し、現在：一般社団法人日本経営協会講師。PHP認定上級ビジネス・コーチ。
(株)クリエイティブ・マネジメント 代表取締役。
JCDA認定キャリア・ディベロップメント・アドバイザー。NPOランチェスター戦略理事北海道支部長。
MBA（経営管理修士）、経営コンサルタント、NLPプラクティショナー。
・約30年のビジネスマン、営業マンの経験とマネージャー・リーダーとしてのノウハウをベースに実践的なマネジメントとコンプライアンス意識の向上にインパクトある研修をいたします。
・結果的に受講者の自己変革により、マネジメント力強化と職場風土の改善を実現する強い組織づくりに貢献いたします。

●お申し込み・お問い合わせは…

一般社団法人 日本経営協会 北海道本部

〒060-0003 札幌市中央区北3条西3丁目 札幌北三条ビル
TEL 011-241-7500 FAX 011-241-7468
E-mail hkd@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp/

1. リスクマネジメント研修の趣旨～企業・組織の社員・職員の必要不可欠な知識～

- (1) リスクとは何か？日常業務の中に潜むリスクを洗い出し、合理的、計画的なリスクマネジメントを考える。
- (2) リスクマネジメントの重要性と日頃からの危機意識の向上、不測事態の対応を怠り無く行う必要性の理解。
- (3) 研修自体を「対話・双方向形式」で進めていき、現場で活用できる実践力と問題解決のヒントを得られる場とする。

2. 企業・組織を取り巻く社会情勢の変化と潜むリスク

- (1) 我々を取り巻く環境の変化10項目をクローズアップし、その中のリスクを認識する。
- (2) 企業・組織の社会的責任が求められるようになり、組織人としての意識改革が必須である。

3. 企業・組織の社会的責任と経営の軸としてのリスクマネジメント

- (1) リスクマネジメントの変遷とトータル・リスクマネジメントを理解する。
- (2) リスクマネジメントの定義と課題を明確にする。
- (3) リスクマネジメントの重要性の背景と対応のメリットを把握する。

4. リスクマネジメント対応の手順

- (1) 第1フェーズ：準備対応
リスク分類、リスクアセスメント、リスク評価とリスクマップをつくる。
- (2) 第2フェーズ：予防対策
被害想定シナリオ（事例研究）を行う。
- (3) 第3フェーズ：発生時対策
暫定対策と恒久対策（事例研究）を行い、リスクマネジメント事例の教訓を参考にする。

5. リスクコミュニケーション

- (1) リスクコミュニケーションの目的と手順、情報開示の範囲と対象者を把握する。
- (2) ステークホルダーに対する情報開示・交換・共有を行い、説明責任を負う。

6. リスクマネジメントとしてのコンプライアンスの重要性

- (1) 日本企業における不祥事の事例と影響を考察し、その特徴について学ぶ。
- (2) コンプライアンス違反の原因を究明し、違反がおきにくい組織体質を構築する。
- (3) コンプライアンスの重要性の背景と企業存亡に関わるリスクを理解する。

7. 求められるコンプライアンス経営と準拠のメリット

- (1) コンプライアンスの自己チェック（チェックシート）にて現状認識をする。
- (2) コンプライアンスの3層構造を理解し、遵守責任を強く意識する。
- (3) 求められるコンプライアンス経営のメリットを学ぶ。

※研修時間は、お客様のご要望によりアレンジができますのでお問い合わせください。

FAX(011)241-7468 下記ご記入の上、切り取らずにこのままFAXしてください

必要事項をご記入の上、FAXにてご返信ください。**FAX011-241-7468** (TELでのお問い合わせ 011-241-7500)

- リスクマネジメント研修を検討しているので、詳細について聞きたい。
- 研修費用について知りたい。
- その他の研修を企画しているので詳細について聞きたい。

団体名	※	所属部署			
お名前		TEL		FAX	
住所	※ 〒			社(職)員	名

※参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

- ①ご照会いただいた事項についてのご連絡
 - ②セミナーなど本会事業のご案内
- なお、②がご不要な場合は□にチェックしてください。 □不要